慶應義塾大学SFC様向け
コムス運用マニュアル

Ver1.0

第一版 ：2013 年 11 月 1 日

コボット株式会社

目次

1.　はじめに.....- 3 -

2. 車両の種類.....- 3 -

3. 任意保険について.....- 4 -

4. はじめて利用されるお客様への安全案内 .....- 4 -

5. 問題が起こった場合の対応 .....- 6 -

6. 安全点検について.....- 7 -

1. はじめに

コボット株式会社が貸出しする小型電気自動車トヨタ車体コムスを安全にお使いいただくための簡易マニュアルです。

電気自動車独自の取り扱い方がありますので、ご使用前によくお読みいただき、ご確認ください。

※　コムス付属の取扱説明書は、ご使用の前に必ずお読みください。

2. 車両の種類

トヨタ車体コムスは、原動機付４輪車です。

・一人乗り用　トヨタ車体コムス

※１人乗り用です。
２人以上で乗車しないでください。

※運転には、普通自動車免許（AT 限定可）が必要です。（**注意　原付免許　不可**）

※道路交通法上は普通自動車です。
一般乗用車と同じように、交通ルールを守って運転してください。
法定速度は 60km/h になります。
一般乗用車と同様、歩道は走行できません。
ただし、自動車専用道路（高速道路等）の走行は出来ません。

※シートベルトは必ず着用してください。

※決められた場所に駐車してください。駐車禁止区域への駐車は、駐車違反になります。
「原付は除く」の表示があれば可能です。

※２段階右折は不要です。
※ヘルメットの着用は不要です。

3. 任意保険について

※運転には普通免許が必要です。

任意保険には、車両の牽引費用は含まれません。
充電切れには注意してください。
※およそ 1 メモリで 6km 程度走行できます（環境による）が、十分に余裕をもって利用してください。

4. はじめて利用されるお客様への安全案内

乗車前に確認してください。

はじめて乗車される場合には車両の乗車前に、下記の項目をご確認ください。
一般乗用車とは異なった電気自動車独自の特徴です。

1. 各操作装置の確認
　キースイッチ、シフトレバー、サイドブレーキ

2. 運転を開始するときは、シフトレバーを「N」にしてから、キースイッチを「ON」にしてください。
　※「D」,「R」では起動しません。

3. ブレーキの利き具合の確認
　数メートルの距離を走って、アクセル、ブレーキの感覚を確認してください。

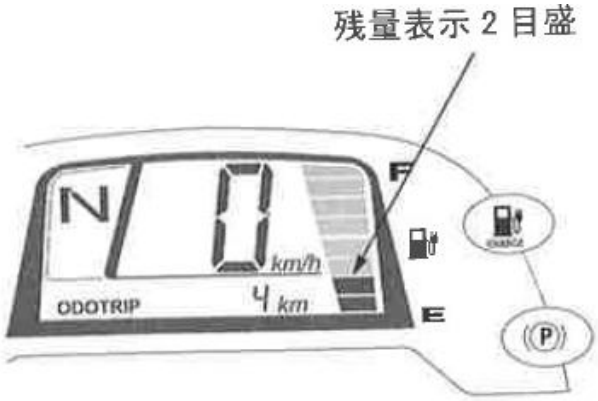
4. 駐車するときは、パーキングブレーキを確実にかけてください。
一般乗用車と異なり、シフトレンジを「R」「D」にしても車両は固定されません。

5. 坂道発進での注意
クリープ機能が弱いので、上り坂でブレーキを離すと下がってしまいます。
坂道では、パーキングブレーキを使用し、運転に注意してください。

※ブレーキを踏むと、アクセルが効きません。

6. 回生ブレーキ（補助的減速装置）
アクセルペダルを緩めると動作し、ブレーキペダルを踏むことによって更に再生させ減速を補助します。

7. 充電残量に注意してください。
※およそ 1 メモリで 6km 程度走行できます（環境による）が、十分に余裕をもって利用してください。
バッテリ残量表示が最後の２目盛になったら、速やかに充電してください。



そのまま走り続けて、１目盛り表示が点灯し、３キロほど走行すると、点滅に代わります。
点滅すると、ブザーが約３０秒鳴りその後、コムスが緊急停止します。
不都合な場所で停止してしまった場合、シフトレバーを「N」にし、キースイッチを再び入れなおすことにより、さらに約３０秒間走行できます。

8. 走行可能状態で３分間レンジを「N」から動かさない時は、節電機能が働き電源が切れます。その時、電源の切れる前 30 秒間、警告として断続ブザーが鳴ります。
復帰はキースイッチを入れなおなしてください。

9. 充電時間は、ほぼ空の状態からフル充電まで、６時間程度です。

10. 積載重量は 30kg までです。

5. 問題が起こった場合の対応

・事故の場合

次の手順で行ってください。

１．負傷者の救護

２．警察への通報と届出

３．コボットコントロールセンターへ連絡

・緊急連絡先

〇コボットコールセンター

TEL：080-8376-0141

〇コボット東京営業所

TEL：03-32479-7832

〇慶應義塾大学大前研究室（田辺）

TEL：0466-49-3501（内線 53048）

〇藤沢北警察署

TEL：0466-45-0110

〇JAF ロードサービス救援コール

TEL：0570-00-8139

〇三井住友海上火災保険株式会社

事故受付センター

TEL：0120-258-365

6. 安全点検について

日常点検は必ず実施してください。法令に準じ、お客様の判断で行う点検です。

日常点検項目
・タイヤの点検　（空気圧、亀裂損傷、溝の深さ、偏摩耗）
・ペダルの位置と操作
・シフトレバーの確認
・ブレーキの利きを確認
・ウォッシャー液の点検
・ブレーキフルードの点検
・ワイパーの点検
・警音器（ホーン）の点検
・灯火装置、方向指示器の点検
・モータの点検
・充電コードの差込口、充電コードの点検

次ページ以降の、コムスの取扱い説明書「９．メンテナンス」からの抜粋を参照してください。

9．メンテナンス

（1）日常点検

⚠注意

日常点検は、お車を使用する人が１日１回運転する前に実施する点検です。下記注意事項を読んで頂き、安全に十分注意して行ってください。

- 点検は平坦な所で行ってください。
- 走行して点検する項目がありますが、そのときは安全な場所で周囲の交通事情に十分注意をして行ってください。
- 点検整備をするときは、火気厳禁です。
- 点検箇所で異常が見つかった場合は、コムス販売店へご相談ください。

◇メンテナンスホールについて

・ウォッシャー液およびブレーキフルード/リザーバタンクの点検は、メンテナンスホールを開けて行います。

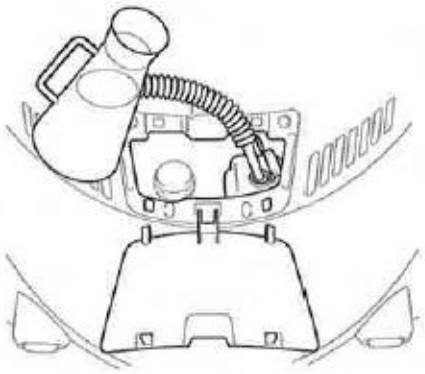
⚠注意

- メンテナンスホールを開ける際は、手を痛めないよう注意してください。
- メンテナンスホールを閉める際は、「カチッ」と音がするまで、確実に閉めてください。

◇ウォッシャー液の点検

・ウォッシャー液の点検は、メンテナンスホールを開けて行います。

・ウォッシャー液が不足している場合は、メンテナンスホール内のウォッシャータンクのキャップを外し、容器に表示してある凍結温度を参考に希釈して補給します。補給時は、周囲にこぼさないよう注意して補給してください。



チェックポイント

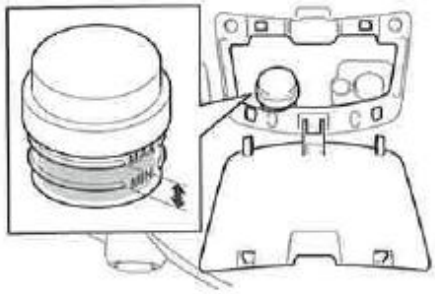
ウォッシャー液はカー用品販売店、ガソリンスタンド、コムス販売店等でお買い求めください。他のせっけん水等を入れ、使用されますとボデー面にしみが残る恐れがあります。

⚠注意

- ウォッシャータンクのフタは、必ず閉まっている事を確認してください。
- ウォッシャータンクへ寄りかからないでください。
- ウォッシャータンクのフタは無理に引っ張らないでください。

◇ブレーキフルード／リザーバタンクの点検

・ブレーキフルード／リザーバタンクの点検は、メンテナンスホールを開けて行います。
・メンテナンスホール内のリザーバタンク周辺から液漏れがないか点検してください。
・リザーバタンクの液面がＭＩＮ線とＭＡＸ線の間にあるかを確認し、ＭＩＮ線より下にある場合はＭＡＸ線まで指定のブレーキフルードDOT３（トヨタキャッスルブレーキフルードDOT３）を入れてください。
他のブレーキフルードとの併用はやめてください。



＊ ブレーキフルードがボデー等に付着すると塗装が剥がれる事があります。
＊ ブレーキフルードは２年に１度、定期点検整備のときに交換してください。

⚠警告

・ 粗悪品や他種の油と混ぜることをしないでください。
ブレーキが作動しない恐れがあり非常に危険です。
・ ブレーキフルードの減りが著しいときは、漏れが考えられます。ブレーキが作動しない恐れがあり非常に危険です。

⚠注意

・ リザーバタンクのフタは、必ず閉まっている事を確認してください。
・リザーバタンクへ寄りかからないでください。
・リザーバタンクのフタは無理に引っぱらないでください。

◇ワイパーの点検

・ワイパーを作動させ正常に機能しているかを確認します。
・ワイパーブレードの劣化により拭き残しがある場合は交換してください。
交換はコムス販売店へご相談ください。

◇タイヤ空気圧の点検

タイヤの空気圧は必ず点検してください。
空気圧は、運転席の右側足元の位置に貼られている「タイヤ空気圧」の表、または次項のメンテナンスデータで正しい空気圧を確認のうえ、調整してください。

◇タイヤの亀裂、損傷の点検

タイヤ接地面の全周や両側面に著しい亀裂や損傷がないか、また異物の噛み込みがないかを点検してください。

◇タイヤ溝の深さの点検

タイヤの接地面のウェアインジケータ（摩耗限度表示）等により、溝の深さを点検してください。

◇タイヤの偏摩耗の点検

タイヤ接地面に異常な摩耗がないかを点検してください。

◇警音器（ホーン）の点検

キースイッチ「ＯＮ」にして、警音器（ホーン）がなるか、ハンドルのホーンスイッチを押して点検してください。

◇ブレーキペダルの点検

ブレーキペダルを踏み込んだとき、異常に軽くないか、引っかかる感触がないかを確認してください。更に、効き具合が十分であるかを乾燥した路面を低速走行して点検してください。

◇パーキングブレーキの点検

パーキングブレーキレバーをゆっくり引いてブレーキが完全に効くまでのノッチ数（音の数）を調べてください。
（基準値：４～６ノッチ）

◇灯火装置、方向指示器の点検

・キースイッチ「ON」にして、前照灯（ヘッドライト）、尾灯（テールランプ）等の灯火装置や方向指示器の点滅状態が良好か、またレンズに汚れや損傷がないか点検してください。
・電球（バルブ）が点灯、点滅しない場合は、電球（バルブ）を交換してください。（P.５６参照）

◇モーターの点検

アクセルペダルを踏んで、スピードの加減速がアクセル操作どおりにスムーズか、モーターから異音がしないか点検してください。

◇充電コード差し込み口、充電コードの点検

充電コード差し込み口（車両側）および充電コードに、汚れや腐食、損傷がないか点検してください。

以上